

# 野村インド株投資 マネープール・ファンド

## 償還運用報告書(全体版)

第7期（償還日2015年7月11日）

作成対象期間（2014年7月12日～2015年7月11日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
このたび、約款の規定にもとづき償還決算を行い、償還価額が決定いたしました。  
ここに設定日から償還までの運用経過をご報告いたしますとともに、ご愛顧に対し厚く御礼申し上げます。

#### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券	
信託期間	2008年12月19日から2015年7月11日までです。	
運用方針	野村マネーポートフォリオ マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）を主要投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。	
主な投資対象	野村インド株投資 マネープール・ファンド	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、公社債等に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村インド株投資 マネープール・ファンド	株式への投資は転換社債の転換等に限るものとし、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 外貨建て資産への投資は行いません。
	マザーファンド	株式への投資は行いません。 外貨建て資産への投資は行いません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益等から、基準価額の水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

## 野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104

〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			純 資 産 額
		税 分	込 配	期 騰 落 中 率	
	円 銭		円		百万円
3期(2011年7月11日)	10,006		10	0.1	116
4期(2012年7月11日)	10,005		10	0.1	95
5期(2013年7月11日)	10,003		10	0.1	57
6期(2014年7月11日)	10,009		0	0.1	63
(償還時)	(償還価額)				
7期(2015年7月11日)	10,014.22		—	0.1	69

\* 基準価額の騰落率は分配金込み。

\* 当ファンドは一時的に待機資金をプールしておくことを目的としたファンドであり、該当するベンチマーク等はありません。

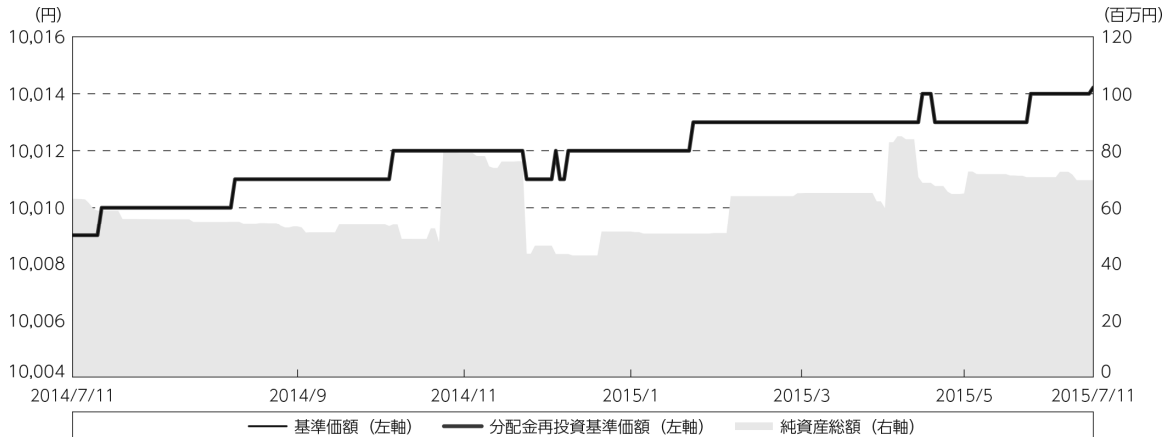
## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	
		騰 落	率
(期 首)	円 銭		%
2014年7月11日	10,009		—
7月末	10,010		0.0
8月末	10,010		0.0
9月末	10,011		0.0
10月末	10,011		0.0
11月末	10,012		0.0
12月末	10,011		0.0
2015年1月末	10,012		0.0
2月末	10,013		0.0
3月末	10,013		0.0
4月末	10,013		0.0
5月末	10,013		0.0
6月末	10,014		0.0
(償還時)	(償還価額)		
2015年7月11日	10,014.22		0.1

\* 騰落率は期首比です。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



期 首： 10,009円

期末(償還日)：10,014円22銭 (既払分配金(税込み)：-円)

騰 落 率： 0.1% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作定期首(2014年7月11日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首10,009円から償還時10,014.22円となりました。

投資している短期有価証券等からのインカムゲイン(利息収入)。

## ○投資環境

国内経済は、期を通じて企業収益の拡大に伴い緩やかに改善した設備投資などが下支えとなる一方、個人消費は消費税増税による反動減の影響が長引きましたが、賃金の緩やかな上昇などに伴い個人消費に下げ止まりの動きがみられたことで、期末にかけて内需は緩やかに改善しました。その間、米国を中心とした先進国経済の回復に伴い輸出に持ち直しの動きがみられました。

このような中、日本銀行は、前年比2%の物価上昇を目指す「量的・質的金融緩和」を継続し、2014年10月の金融政策決定会合では、資産買入れ額の拡大および長期国債買入れの平均残存年限の長期化を図るなど金融緩和を強化しました。

### ・無担保コール翌日物金利の推移

期を通じておおむね0.06%台から0.07%台で推移しました。

### ・T-Bill（国庫短期証券）3ヵ月物の利回りの推移

期首から2014年8月まで、需給の変化を受けておおむね0.02%台から0.03%台の範囲で推移しました。2014年9月以降、国内投資家の恒常的な国債需要に加え、日本銀行による買入や海外からの資金流入などによる需給ひっ迫から、利回りはおおむねマイナス圏で推移し、期末にかけてマイナス幅は拡大しました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

### [野村インド株投資 マネープール・ファンド]

主要な投資対象である[野村マネーポートフォリオ マザーファンド] 受益証券をおおむね高位に組入れました。

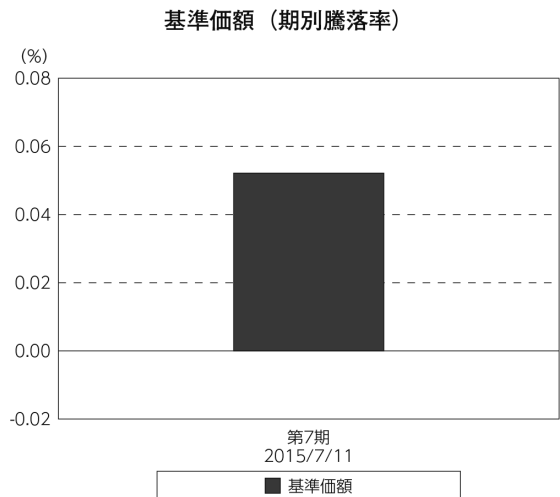
### [野村マネーポートフォリオ マザーファンド]

- (1) 残高動向に応じて残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券の投資により利息等収益の確保を図り、あわせて債券現先取引やコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図るという方針のもと、運用してまいりました。
- (2) 今期の運用につきましては、残存期間の短い高格付けの公社債等によってポートフォリオを構築し、流動性に関しては、債券現先取引やコール・ローンなどにより運用してまいりました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは一時的に待機資金をプールしておくことを目的としたファンドであり、該当するベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。

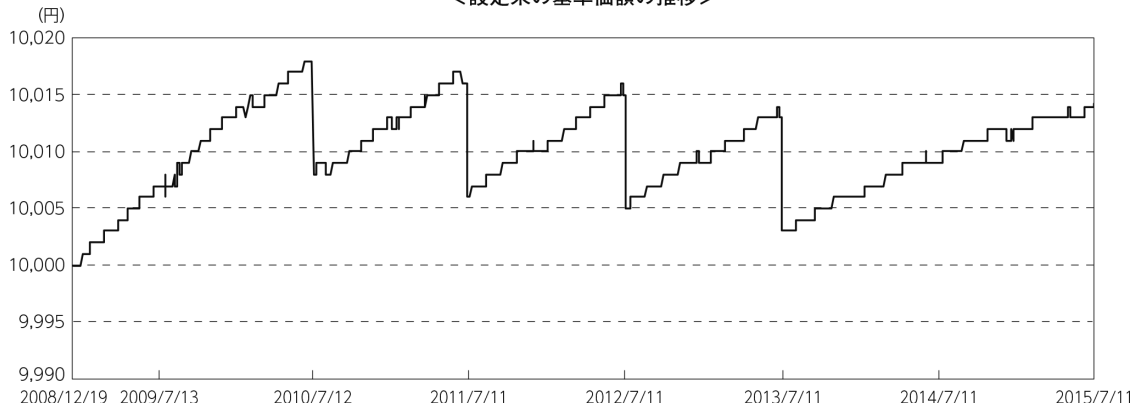


## ◎分配金

償還のため分配は行ないませんでした。

## ◎設定来の運用経過

＜設定来の基準価額の推移＞



### 第1期（2008年12月19日～2009年7月13日）

基準価額は、設定時10,000円から期末10,007円となりました。

収益分配金については、マネープール・ファンドの商品性および基準価額の水準を勘案し、見送らせていただきました。

### 第2期（2009年7月14日～2010年7月12日）

基準価額は、期首10,007円から期末10,018円（分配金込み）となりました。

収益分配金については、マネープール・ファンドの商品性および基準価額の水準を勘案し、一万口あたり10円とさせていただきます。

### 第3期（2010年7月13日～2011年7月11日）

基準価額は、期首10,008円から期末10,016円（分配金込み）となりました。

収益分配金については、マネープール・ファンドの商品性および基準価額の水準を勘案し、一万口あたり10円とさせていただきます。

### 第4期（2011年7月12日～2012年7月11日）

基準価額は、期首10,006円から期末10,015円（分配金込み）となりました。

収益分配金については、マネープール・ファンドの商品性および基準価額の水準を勘案し、一万口あたり10円とさせていただきます。

**第5期（2012年7月12日～2013年7月11日）**

基準価額は、期首10,005円から期末10,013円（分配金込み）となりました。

収益分配金については、マネープール・ファンドの商品性および基準価額の水準を勘案し、一万口あたり10円とさせていただきます。

**第6期（2013年7月12日～2014年7月11日）**

基準価額は、期首10,003円から期末10,009円となりました。

収益分配金については、マネープール・ファンドの商品性および基準価額の水準を勘案し、見送らせていただきました。

**第7期（2014年7月12日～2015年7月11日）**

基準価額は、期首10,009円から償還時10,014.22円となりました。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2014年7月12日～2015年7月11日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 2	% 0.022	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(1)	(0.009)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
( 販 売 会 社 )	(1)	(0.010)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
( 受 託 会 社 )	(0)	(0.002)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	0	0.000	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	2	0.022	
期中の平均基準価額は、10,011円です。			

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○ 売買及び取引の状況

(2014年7月12日～2015年7月11日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
野村マネーポートフォリオ マザーファンド	千口 103,248	千円 103,900	千口 165,905	千円 166,966

\* 単位未満は切り捨て。



## ○利害関係人との取引状況等

(2014年7月12日～2015年7月11日)

## 利害関係人との取引状況

&lt;野村インド株投資 マネープール・ファンド&gt;

該当事項はございません。

&lt;野村マネーポートフォリオ マザーファンド&gt;

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 561	百万円 70	% 12.5	百万円 40	百万円 -	% -

平均保有割合 30.5%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村証券株式会社です。

## ○組入資産の明細

(2015年7月11日現在)

2015年7月11日現在、有価証券等の組入れはございません。

## 親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	
		口	数
野村マネーポートフォリオ マザーファンド			千口 62,656

\*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2015年7月11日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 71,596	% 100.0
投資信託財産総額	71,596	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

## ○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2015年7月11日現在)

項 目	償 還 時
(A) 資産	71,596,516 円
コール・ローン等	71,596,126
未収利息	390
(B) 負債	1,936,122
未払解約金	1,929,434
未払信託報酬	6,687
その他未払費用	1
(C) 純資産総額(A-B)	69,660,394
元本	69,561,507
償還差益金	98,887
(D) 受益権総口数	69,561,507口
1万口当たり償還価額(C/D)	10,014円22銭

(注) 期首元本額63百万円、期中追加設定元本額106百万円、期中一部解約元本額100百万円、計算口数当たり純資産額10,014.22円。

## ○損益の状況 (2014年7月12日～2015年7月11日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	1,181 円
受取利息	1,181
(B) 有価証券売買損益	26,567
売買益	54,039
売買損	△ 27,472
(C) 信託報酬等	△ 12,887
(D) 当期損益金(A+B+C)	14,861
(E) 前期繰越損益金	1,875
(F) 追加信託差損益金	82,151
(配当等相当額)	( 314,266)
(売買損益相当額)	(△232,115)
償還差益金(D+E+F)	98,887

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## ○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2008年12月19日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2015年7月11日		資産総額	71,596,516円
区 分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	1,936,122円
受益権口数	10,000,000口	69,561,507口	59,561,507口	純資産総額	69,660,394円
元本額	10,000,000円	69,561,507円	59,561,507円	受益権口数	69,561,507口
				1万口当たり償還金	10,014円22銭
毎計算期末の状況					
計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第1期	138,055,836円	138,146,461円	10,007円	0円	0.0%
第2期	245,177,106	245,365,220	10,008	10	0.1
第3期	116,588,728	116,663,256	10,006	10	0.1
第4期	95,164,132	95,216,008	10,005	10	0.1
第5期	57,479,023	57,498,859	10,003	10	0.1
第6期	63,099,046	63,158,119	10,009	0	0.0

## ○償還金のお知らせ

---

1 万口当たり償還金 (税込み)	10,014円22銭
------------------	------------

## ○お知らせ

---

- ①運用報告書（全体版）について電磁的方法により提供する所要の約款変更を行いました。  
＜変更適用日：2014年12月1日＞
- ②書面決議の要件緩和等に関する所要の約款変更を行いました。  
＜変更適用日：2014年12月1日＞
- ③書面決議に反対した受益者が受託者に対して行う受益権の買取請求を不適用とする所要の約款変更を行いました。  
＜変更適用日：2014年12月1日＞
- ④デリバティブ取引等に係る投資制限に関する所要の約款変更を行いました。  
＜変更適用日：2015年3月27日＞

# 野村マネーポートフォリオ マザーファンド

第6期(2014年7月11日決算)

(計算期間：2013年7月12日～2014年7月11日)

## 《運用報告書》

受益者のみなさまへ

野村マネーポートフォリオ マザーファンドの第6期の運用状況をご報告申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とし、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行います。
主な投資対象	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資は行いません。 外貨建て資産への投資は行いません。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1

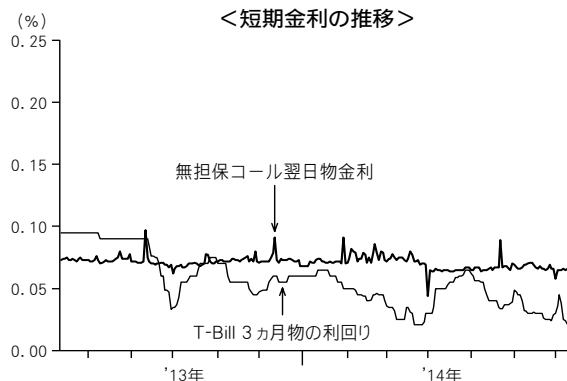
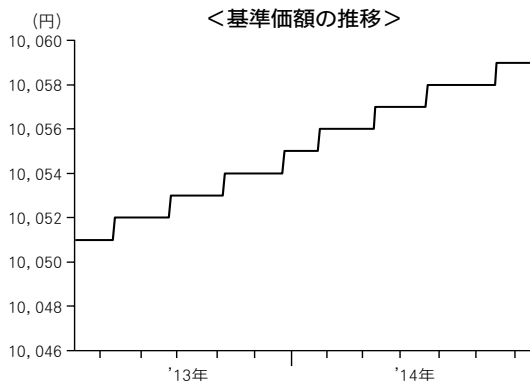
<http://www.nomura-am.co.jp/>

## ◎運用経過

### 1. 基準価額の推移

#### \* 基準価額は0.08%の上昇

基準価額は、期初10,051円から期末は10,059円となりました。



## ○運用環境

国内経済は、2014年4月の消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減の影響を受けつつも、期を通じて底堅く推移した個人消費や、企業収益の改善に伴い回復の兆しがみられた設備投資などの内需が下支えとなる一方、先進国を中心とした海外経済の持ち直しの中で輸出は横ばいで推移しました。このような中、日本銀行は、前年比2%の物価上昇を目指す「量的・質的金融緩和」を継続しました。

### ●無担保コール翌日物金利の推移

概ね0.06%台～0.07%台で推移しました。

### ●T-Bill(国庫短期証券)3ヵ月物の利回りの推移

- ・ 期初から2013年9月までは概ね0.09%台で推移しました。
- ・ 2013年9月末に需給のひっ迫により0.03%台まで低下しましたが、その後利回りは上昇し、2013年10月から2014年2月にかけて概ね0.05%台～0.07%台で推移しました。
- ・ 3月末にかけて需給が引き締まったことで0.02%台まで低下し、その後一旦は0.06%台まで上昇しましたが、期末にかけて0.01%台まで低下しました。

## 2. ポートフォリオ

- (1) 残高動向に応じて残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券の投資により利息等収益の確保を図り、あわせて債券現先取引やコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図るという方針のもと、運用してまいりました。
- (2) 今期の運用につきましては、国債を中心に政府保証債や利付金融債によってポートフォリオを構築し、流動性に関しては、債券現先取引やコール・ローンなどにより運用してまいりました。

## ◎今後の運用方針

残高動向に応じて残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券の投資により利息等収益の確保を図り、あわせて債券現先取引やコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図る運用を行なう方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## ◎期中の売買及び取引の状況(自 2013年7月12日 至 2014年7月11日)

## ●公社債

		買付額	売付額
国内		千円	千円
国債証券		20,607,363	19,085,878 (1,821,450)
特殊債券		102,442	- (50,000)

\*金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

\*単位未満は切り捨て。

\*( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ◎組入資産の明細

## ●国内(邦貨建)公社債

区分	期首					当期				期末			
	組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率			額面金額	評価額	組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率			
			5年以上	2年以上	2年未満					5年以上	2年以上	2年未満	
国債証券	% (94.4)	% (-)	% (-)	% (-)	% (94.4)	千円 (20,000)	千円 (20,000)	% (9.7)	% (-)	% (-)	% (-)	% (9.7)	
特殊債券(除く金融債)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	42,000 (42,000)	42,217 (42,217)	20.4 (20.4)	- (-)	- (-)	- (-)	20.4 (20.4)	
金融債券	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	10,000 (10,000)	10,011 (10,011)	4.8 (4.8)	- (-)	- (-)	- (-)	4.8 (4.8)	
合計	99.5 (94.4)	- (-)	- (-)	- (-)	99.5 (94.4)	142,000 (72,000)	142,236 (72,228)	68.6 (34.9)	- (-)	- (-)	- (-)	68.6 (34.9)	

\*( )内は非上場債で内書きです。

\*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*一印は組み入れなし。

\*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

\*残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

## 国内(邦貨建)公社債銘柄別

種 類	銘 柄 名	利 率	額面金額	評 価 額	償還年月日
		%	千円	千円	
国 債 証 券	国庫短期証券 第381回	—	10,000	9,999	2014/7/22
	国庫債券 利付(2年)第318回	0.1	10,000	10,000	2014/7/15
	国庫債券 利付(2年)第319回	0.1	10,000	10,000	2014/8/15
	国庫債券 利付(2年)第320回	0.1	10,000	10,000	2014/9/15
	国庫債券 利付(2年)第321回	0.1	20,000	20,002	2014/10/15
	国庫債券 利付(2年)第322回	0.1	20,000	20,001	2014/11/15
	国庫債券 利付(2年)第323回	0.1	10,000	10,001	2014/12/15
	小 計	—	—	90,008	—
特殊債券(除く金融債)	日本高速道路保有・債務返済機構承継 政府保証第336回	1.4	2,000	2,014	2015/1/28
	日本高速道路保有・債務返済機構承継 政府保証第337回	1.3	5,000	5,037	2015/2/27
	日本高速道路保有・債務返済機構承継 政府保証第338回	1.5	2,000	2,019	2015/3/27
	日本高速道路保有・債務返済機構承継 政府保証第341回	1.3	4,000	4,042	2015/5/29
	首都高速道路債券 政府保証第191回	1.8	2,000	2,001	2014/7/29
	首都高速道路債券 政府保証第195回	1.4	9,000	9,063	2015/1/26
	阪神高速道路債券 政府保証第141回	1.5	2,000	2,010	2014/11/28
	本州四国連絡橋債券 政府保証第24回	1.8	3,000	3,006	2014/8/29
	公営企業債券 政府保証第841回	1.8	10,000	10,006	2014/7/25
	公営企業債券 政府保証第844回	1.6	3,000	3,013	2014/10/28
	小 計	—	—	42,217	—
金 融 債 券	しんきん中金債券 利付第237回	1.0	10,000	10,011	2014/8/27
	小 計	—	—	10,011	—
	合 計	—	—	142,236	—

\* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

## ◎投資信託財産の構成

(2014年7月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	142,236	65.5
コール・ローン等、その他	75,040	34.5
投資信託財産総額	217,276	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

## ◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2014年7月11日)現在

項 目	当 期 末
	円
(A) 資 産	217,276,132
コール・ローン等	74,798,694
公社債(評価額)	142,236,588
未 收 利 息	129,585
前 払 費 用	111,265
(B) 負 債	10,049,800
未 払 金	9,999,800
未 払 解 約 金	50,000
(C) 純 資 産 総 額 ( A - B )	207,226,332
元 本	206,006,679
次 期 繰 越 損 益 金	1,219,653
(D) 受 益 権 総 口 数	206,006,679口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,059円

## ◎損益の状況

(自 2013年7月12日 至 2014年7月11日)

項 目	当 期
	円
(A) 配 当 等 収 益	511,310
受 取 利 息	511,310
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 272,298
売 買 益	3,821
売 買 損	△ 276,119
(C) 当 期 損 益 金 ( A + B )	239,012
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	1,979,227
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	600,311
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 1,598,897
(G) 計 ( C + D + E + F )	1,219,653
次 期 繰 越 損 益 金 ( G )	1,219,653

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\*損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注)期首元本額389百万円、期中追加設定元本額109百万円、期中一部解約元本額293百万円、計算口数当たり純資産額10,059円。



## ◎当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額

ファンド名	当期末
	元本額
	百万円
野村インド株投資 マネープール・ファンド	62
野村原油先物投信（マネープールファンド）年2回決算型	6
野村金先物投信（マネープールファンド）年2回決算型	84
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信（マネープールファンド）年2回決算型	10
野村南アフリカ資源関連株投信 マネープール・ファンド	0
野村原油先物投信（豪ドルコース）毎月分配型	0
野村原油先物投信（ブラジルリアルコース）毎月分配型	0
野村原油先物投信（南アフリカランドコース）毎月分配型	0
野村原油先物投信（豪ドルコース）年2回決算型	0
野村原油先物投信（ブラジルリアルコース）年2回決算型	0
野村原油先物投信（南アフリカランドコース）年2回決算型	0
野村金先物投信（豪ドルコース）毎月分配型	0
野村金先物投信（ブラジルリアルコース）毎月分配型	0
野村金先物投信（南アフリカランドコース）毎月分配型	0
野村金先物投信（豪ドルコース）年2回決算型	0
野村金先物投信（ブラジルリアルコース）年2回決算型	0
野村金先物投信（南アフリカランドコース）年2回決算型	0
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信（円コース）毎月分配型	0
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）毎月分配型	0
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信（ニュージーランドドルコース）毎月分配型	0
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルリアルコース）毎月分配型	1
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信（南アフリカランドコース）毎月分配型	0
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信（メキシコペソコース）毎月分配型	0
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信（円コース）年2回決算型	0
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）年2回決算型	0
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信（ニュージーランドドルコース）年2回決算型	0
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルリアルコース）年2回決算型	0
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信（南アフリカランドコース）年2回決算型	0
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信（メキシコペソコース）年2回決算型	0
財形給付金ファンド	31
野村セレクト・オポチュニティ・ファンドP ハイブリッド型（適格機関投資家専用）	0

\*単位未満は切り捨て。